



な  
ぎ  
ちょう  
**奈 義 町**

9月議会

# 議会だより



力を合わせてヨイショ  
楽しいいもほり

152号

令和元年11月1日発行

発行 奈義町議会  
編集 議会広報委員会  
〒708-1392  
岡山県勝田郡奈義町  
豊沢306-1  
☎(0868) 36-4191

## 【おもな内容】

- 9月議会で決まったこと、決算特別委員会 ..... 2～3ページ
- 一般質問（9名）等 ..... 4～12ページ
- 委員会報告、智頭町議会との交流会 ..... 13ページ
- 全国フォーラム報告、常任委員会合同研修報告 ..... 14ページ
- 研修会、令和元年度前期政務活動費報告 ..... 15ページ
- タブレット研修、中学生との懇談会、編集後記 ..... 16ページ

# の決算を審議 の見直しが始まる

○生活環境等と太陽光発電設備との調和に関する条例  
奈義町における特色ある景観や安全・安心な生活環境の保全、災害の防止及び自然環境の保護と、急速に進む太陽光発電設備との調和を図り、豊かな地域社会の発展に寄与することを目的とするもの。

○奈義町水道事業、下水道事業及び工業用水道事業の剩余金の処分等に関する条例

○奈義町立幼稚園授業料徴収条例を廃止する条例

○奈義町印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例

○奈義町定住促進住宅条例の一部を改正する条例

○奈義町下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴う関係条例の整備等に関する条例

○奈義町多世代交流広場ナギテラス設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例

○奈義町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

9月定例議会は、9月5日から20日まで16日間行われ、**条例9件、補正予算10件、決算12件、請願2件、契約1件、報告2件、意見書2件、計43件を審議、決定。**9人の議員が一般質問を行いました。

## 『条 例』

### 《 請 願 ・ 陳 情 》

種別	件 名	提 出 者	結 果
請 願	ナギフトカードへの一刻も早く電子マネーの導入を求める請願書（委員会審査報告）	ナギフト加盟店会 会長 磯田 卓志	採択 (賛成8、反対1)
陳 情	精神障害者と身体障害者・知的障害者の医療費公費助成の格差を解消するための請願	特定非営利活動法人 岡山県精神障害者家族会連合会 理事長 鵜川 克己 津山しらうめの会（精神障害者家族会） 会長 近藤 立志 日本原病院高次脳機能障害家族会 理事長 森 崇文 高次脳機能障害者と家族の集い つるの会 会長 土井美智江	総務常任 委員会に付託
陳 情	会計年度任用職員制度施行に伴う公務公共サービスの拡充と自治体臨時・非常勤職員の地位・待遇改善を求める陳情書	自治労連岡山県本部 執行委員長 鷺尾 裕	総務常任 委員会に付託
陳 情	日米協働訓練についての陳情書	宮内地区 区長 内藤 秀之	趣旨採択 (賛成8、反対1)
陳 情	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための2020年度政府予算に係る意見書採択の要請について	岡山県教職員組合美勝英支部 支部長 北岡 慶司	採択 (全員一致)

## 『補正予算』

○一般会計補正予算  
歳入歳出にそれぞれ  
2億4700万円を追加し、総額45億5200万円減など。

0万円となりました。  
歳入の主なものは、  
繰入金を1億3400万円増、財政調整基金

## 9月 定例議会

令和元年  
9月5日～20日

- 平成30年度一般会計決算  
中井泰洋決算特別委員長の報告のあと、反対、賛成の討論があり、採決の結果、賛成多数で認定した。
- 平成30年度特別会計9件、  
公営企業会計2件  
全員一致で認定した。

# 平成最後 地方創生事業

歳出の主なものは、踏み間違い防止装置整備事業費200万円、公共施設整備等基金積立金に6600万円など。

- 土地取得特別会計  
(賛成8、反対2)

- 国民健康保険・豊並財産区・分譲地造成・柿財産区・介護保険・下水道・後期高齢者医療・津山圏域東部衛生施設組合清算の各特別会計

以上、8件の補正予算を全員一致で可決した。

### 『決 算』

- 平成30年度奈義町の財政健全化判断比率の報告について

国は基準に照らし健全部門を維持していると延原孝代表監査委員から報告があった。

### 『意 見 書』

- 全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に賛同し、日米地位協定の見直しを求める意見書の提出（全員一致）

### 『契 約』

- 水路改修工事（廠舎池西幹線）  
請負契約の締結について

契約額／5170万円  
相手方／森安建設株式会社

### 『報 告』

- 平成30年度奈義町の公営企業資金不足比率の報告について

町長、担当課長から説明を受けた後、質疑応答がなされ慎重に審査を行った。

- 一般会計の主な質問、答弁

### 決算特別委員会報告

9月11日、12日の2日間、決算特別委員会を開催し、

委員会に付託された平成30年度一般会計決算、特別会計9件、公営企業会計2件について決算審査を行った。

一般会計は賛成多数（賛成8、反対1）、特別会計9件、企業会計2件は全員一致で認定した。

一般会計は賛成多数（賛成8、反対1）、特別会計9件、企業会計2件は全員一致で認定した。

一般会計は賛成多数（賛成8、反対1）、特別会計9件、企業会計2件は全員一致で認定した。

(10万円以下は切り捨て)	
●小商いマーケットプレイス周辺整備事業費	1億4,900万円
●遊具新設事業費（とんがりワールド）	4,800万円
●高齢者生活応援支援券事業費	2,400万円
●災害復旧費	1億900万円
●中山間地域等直接支払事業費	6,800万円
●多面的機能支払事業費	4,700万円

### 平成30年度の主な事業

- 小商いマーケットプレイス周辺整備事業費 1億4,900万円
- 遊具新設事業費（とんがりワールド） 4,800万円
- 高齢者生活応援支援券事業費 2,400万円
- 災害復旧費 1億900万円
- 中山間地域等直接支払事業費 6,800万円
- 多面的機能支払事業費 4,700万円

# 未来に向けて

## 9議員が一般質問

Q アクティブ・ラーニングの現状をどう思うか

A 主体的・対話的な学習に取り組んでいる



定森 廉敏 議員

質問

規制、抑制、抑圧で

Q 全国的にいじめ問題は、なぜ起こっているのか

A 簡単に理由を特定することはできない

質問

答弁 教育長 小学3年生と、4年生で算数の時間に、4、5時間程度、そろばんの学習を行っている。

Q 基本は、読み、書き、そろばんと思うが、基本の部分は、丁寧に十分習熟できるよう指導している

質問

答弁 教育長 主体的、対話的で深い学びができるよう、幼・小・中連携して、授業改善に取り組んでいる。

質問

答弁 教育長 過重労働の原因は、教材づくり、問題づくり、また採点、評価を一人で行っているからではないか。

Q 全国的に教師の過重労働になつているが、教科センター方式により軽減できなか

A 効果は限定的と思われる

質問

答弁 教育長 原因は、放課後の部活動の指導、児童生徒への生徒指導、職員会議、翌日の授業準備、子どもの提出物の点検あるいは保護者対応など多岐にわたつ

Q Aー技術者を育てることは、国にとって、奈義町にとっても大切と思われる

A 時代に対応した教育ができるよう、環境整備に取り組む

質問

答弁 教育長 現状の課題はもとより、刻一刻と変わりゆく時代に対応した教育、現場におけるIT環境の整備やICTを有効に活用し授業の実施など必要であると考える。

質問

答弁 教育長 子ども達を取り巻く環境がストレスを生むことも原因の一つかもしない。注意深く見守り、気を配り、未然に防ぎたい。

Q 子どもの心が萎縮してしまって、いじめになるのではないか。

質問

答弁 教育長 健康障害防止対策実施要綱が平成20年制定されている。センター方式による軽減効果は限定的と思われるが、よいところは取り入れて行くという立場でやって行きたい。



上原 伸介 議員

## Q ナギテラスの一刻も早い 有効活用を

### A いろいろな施策を試みる

**質問** 今年4月から運用が始まったナギテラスが、今までオープンから約5カ月を迎えるが、現状では活気に溢れているとは言い難い。施設の有用性を疑問視する声もある。そこで改めて、当施設の建設目的を確認したい。また施設建設に要した各種事業費と、現在までの施設利用状況はどのくらいか。

**答弁 町長** ナギテラスは、交流人口の増加とにぎわいの創出を図るため、観光や地域交通そして小商いマーケットやスマートマーケット、また交通の拠点として整備されたもの。

その事業費については、土地の取得や旧施設の解体費用、また本体の建設費用や外構工事など、すべてを合わせると3億5300万円。そのうちの町負担額は1億3700万円。利用状況は、バス待合として1日平均60名。会合やイベントとして30日、600名程度の利



交流の拠点を目指すナギテ拉斯

**質問** 昨今、高齢者によるブレーキとアクセルの踏み間違いが原因とされる事故が多く報道されている。しかし、いろいろと調べてみると必ずしも高齢者だけが事故を起こしているわけではないことがわかる。補助政策範囲の拡大、あるいは道路や歩道の整備に力を入れることが妥当ではないか。故も認識しているが、とにかく大きな事故につながら

**答弁 町長** 若者による事

用があった。またスペースの貸し出し要望件数は4件程度。

**質問** にぎわいの場となることを理想とし、1億3700万円を投入したことになるが、それに対して町が得られる施設利用料収益は最大で年に120万円。元をとるには約116年かかる計算となる。バス待合や観光案内所の利用実績から、いくらかの交流人口創出は認めるが、町民の皆様がナギテラスに対して抱かれている将来への不安を払拭するには程遠いが、どうか。

**答弁 町長** 現状のままではよくないと思っている。場が機能していないことは認識している。なるべく費用を抑えながら、最大の効果を発揮していくよう、意見をいただきながら有効活用に向け努力していく。

**Q 幅広い交通補助  
政策を  
ながら調整する**

**Q 幅広い交通補助  
政策を  
ながら調整する**

**質問** 今年7月から運用が始まった「さと丸乗り合い交通」だが、利用者からは、「料金が高い、予約の手続きが煩わしいなどのご意見もある。バスの便数を増やす等の対策を講じるべきでは。

**答弁 町長** 今年度のさと丸乗り合い交通は、実証運行という位置づけ。次年度の本格運行に向けて、アンケート調査を行うなど、利用者の方に喜んでいただけようなものにしていきた

**Q 安心できる交通  
を確保していき  
たい**

**Q 安心できる交通  
を確保していき  
たい**

ないようにするのが一番大切。様子を見ながら対応していく。また、道路管理を怠っているつもりはない。限られた予算のなかで、バランスを図りながら取り組んでいく。

# Q 農業振興は公約通り実現を



## A 必要な支援をしていきたい

小阪 四郎 議員

答弁 町長 現在、集落農業の設立にあたる町の支援としては、法人化で最大80万円の補助。大型農機購入に実費 $\frac{1}{3}$ 補助される国の制度もあり、町からも補助の上乗せを行い農家負担を軽減させる施策を講じている。国、県の補助金の採択要件は年々複雑化しハードルが

か。



菜の花の播種に協力をお願い

質問  
業、畜産業も観光資源である田園風景や豊かな農

A 本町の観光資源の多くは、自然と町民の日常に溶け込んだ風景の中にあるのは自然や恵まれた財産を活かす知恵と努力のもとに、行政と協働した観光振興を推進していく

答弁 町長 観光振興は、我々人間の知恵、努力が必要だと考えている。菜の花まつりでは農家の皆さんに大変心労をいただいている。その経費に補助をしているが、さらに一生懸命取り組んでいく。

質問 奈義町の基幹産業である農業、畜産業全般で担い手不足、高齢化が深刻化している。担い手の育成と、計画的な作付、品種の選定等が急がれるところだ。集落農の立ち上げが遅れれば、将来の農業経営が立ち行かなくなる恐れがある。町の支援が必要ではないか。

質問 全地区に展開が理想だと考えている

Q 集落営農組織の全地区立ち上げには町の大きな支援が必要である

高くなっている現状だが、意欲ある集落営農組織の取り組みについては、できるだけ支援をしなければと考えている。地域の農業は地域で守る。この機運を高め、町全体で農地を預けられる環境になるように必要な支援を行う。

質問 食用トウモロコシの栽培についても研究、普及の考えはあるか伺う。

答弁 町長 食用トウモロ

コシの栽培については、研究、普及を行い、来年度実証実験をし、ぜひ取り組みたい。



このような菜の花まつりになるよう

る。外部の観光客を呼び込み、農産品を土産に持ち帰っていただき、経済的に潤い、おもてなしをして交流を深めることが大切だが、町長の考えを伺う。

また町の行事の中で、菜の花まつりのように豊沢、成松、宮内地区の協力なしでは継続的な菜の花まつりの発展と成功はない。菜の花特区を設けるなどを行うようになりたい。町長の考えを伺う。



播種が待たれるたんぽ



岡部 英生 議員

## Q 防災危機管理への取り組みは大丈夫か

### A 早日早日の情報提供に努め対応する

質問

ここ数年、全国で想像もつかない大きな災害が発生している。奈義町では

たところであり、災害防止、被害防止装置等により機能の確保ができた。今後の落雷や台風などによる停電に備え、防災情報の記事を町広報紙に掲載したところで

あります。この夏は、多くの落雷が発生した。急な大雨、大きな響き渡る雷の音、そして最後には落雷し各戸の停電。一晩中停電の日もあつた。雷も災害だ。雷を防ぐことはできないが、落雷後の復旧対策や被害に対する町の防災危機管理への取り組みはどのようになっているのか。

答弁 町長

本町でも突然大気が不安定となり、急速な積乱雲の発達に伴う激しい雷雨に見舞われることが多々ある。電子機器等が破損する事故が後を絶たない。この7月には2度も落雷により、町内の広範囲において長期的な停電が続き、電気のない生活を余儀なくされた家庭では、不安で不便な時間を過ごされたことと思う。

町でも、災害対応の防災無線により基本的な機能について十分な確保ができる

として、町においても、停電情報が共有できるよう積極的に情報を入手すると共に停電が長期化する場合には、把握できる範囲で復旧見込み等の情報を防災無線で伝えたい。落雷による被害を最小限に抑えるために、電力会社にも引き続いき要請し、情報提供に努めたい。

町民の皆様におかれても、日頃から防災意識を高め、早目早目の対応を心掛け、災害から身を守る対策や防災袋等準備をし、自助、公助、公助というところで防災危機管理への理解をお願いしたい。

質問

平成14年12月の住民投票により、合併をしない

奈義町を選んだ町民の意思

を尊重し、単独町政の道を

選び、翌年の4月から町再

出発計画策定委員会が設置

され、大行政改革を断行し

た。その後も常に行政改革

### Q 行財政改革委員会に何を期待されるのか

### A 本町が発展し、生活の質を下げない改革へ

に取り組んできたが、今回の行財政改革委員会には何を期待されているか。

答弁 町長

今回の行財政改革委員会に期待することは、本町が引き続き持続的に発展していくことを念頭に、生活の質を下げないこと、そして、行政の簡素化を図り、行政活動が持続できる組織づくりを行う。

本町がさらに住みやすい町となり、人口維持が図れるよう現在の補助金、交付金等を見直す中で、生活への満足度の向上を図っていきたいと考えている。



落雷を受けた電柱

## Q 地方創生事業が 町の主体に移行し成果は



鷹取 渡 議員

## A 奈義しごとえんは昨年比約30%増

**質問** 奈義町の地方創生事業も5年目になり、大幅に見直すことになった。まちの人事部、しごとinandが「奈義しごとえん」として運営されているが、効果は出ているか。

**答弁 町長** 仕事量は増している。今後も困り事の解決・福祉の向上・住民皆様の所得の向上を図り、町も支援をしていく。

**質問** ナギフトポイントカード機能の充実を図るべきと思う。当初の計画より遅れているが、ポイントカード制度は、商工会のカード会と行政が一体となった全国でも注目されている事業だ。買い物の決済は、今や世界的にキャッシュレス化の方向にあり、ナギフトカードの電子マネー化を進めていただきたい。

**答弁 町長** ナギフトカードは昨年19万1000件の利用があり、283万ポイントが付与されている。今後の取り組みについては、行政ポイントの付加について見直したい。

**質問** 第2の松くい虫と言われるナラ枯れが、那岐山や滝山だけでなく、里山にも広がっている。カシノナガキクイムシの被害を確實に食い止める防除や駆除の方法はないのか。

**答弁 町長** 平成27年からの調査で、約700本のナラ枯れを確認し、約500本を駆除しているが、新たな被害の拡大を心配している。研究を重ね効果のあるもので対策を講じてきたい。

**質問** 奈義町の地方創生事業も5年目になり、大幅に見直すことになった。まちの人事部、しごとinandが「奈義しごとえん」として運営されているが、効果は出ているか。

**質問** 電子マネー化については、関係省庁と協議し、導入に向けて検討していく。将来の利便性と、町内の商店への支援を考え取組みであり、町民の皆様の意見も聞きながら進めていきたい。

## A ナラ枯れの被害が里山にも 関係機関と連携し継続して駆除していきたい



奈義しごとえん

**質問** 那岐山などの頂上付近には、ドウダンツツジが多く自生しており、6月に登山者の皆さんに喜ばれている。現在鳥取県側のツツジが鹿による食害で全滅に近い状態となっている。幸い岡山県側は被害がないので、今のうちにネットで木を巻いたり、囲つたりして防ぐことはできないか。

**答弁 町長** ネットを張るのは有効な手段だが、国有林なので関係省庁と連絡をとって進めたい。また獣友会の皆さんにも鹿やイノシシの駆除活動に引き続き協力していただくようお願いしたい。

\*他に高齢者の自動車運転の講習会や、さと丸乗り合い交通について質問した。



森藤 政憲 議員

## Q 町民の反対の声に応え、電子マネー導入はやめるべきでは

### A 理解が得られるよう努力する

**質問** ナギフトポイント制度の電子マネー導入には、まつて、地方創生私が反対、町が行ったアンケート（集計途中の数値）でも、「必要ない」が多数となっている。奥町長は、選挙で、町民の声をよく聞く」と公約しているが、電子マネーを導入すれば、町民の声を聞かない”町長という事になる。町民の理解が得られない電子マネーの導入はやめるべきだと思うがどうか。

**答弁 町長** 町民の声を聞く”というのは私の信条である。反対の声にも耳を傾け、理解が得られるよう、努力したい。ナギフトポイントカードを始める時の制度（覚書・契約）の中にも入っているので、これを覆す訳にはいかない。

**質問** 私が行った町民アンケート（町内の約千世帯に配布して、145通が返ってきた）では、地方創生事業が「役に立っている」と答えた人は、12・4%、「役に立っていない」と答えた人は、77・3%となっている。今後についても、「抜本的に見直す」、「地方創生事業はこれ以上必要ない」、を合わせると63・3%もある。しっかりと検証し、今は立ち止まって考えるべき時だ。

**答弁 町長** 町民の願いや決意を事業化したもので、決して、町民の意向と違う事を進めてはいない。反省すべきことは反省し、町民の理解を得ながら進めていきたい。

**質問** ナギフトカードの町外用2万枚の裏付けは、希望も含め積みあげたもの

**答弁 町長** 奈義町の周辺の買い物をしてもらえる人の事も考え、希望的な数字も含み積みあげたものだ。詳細は手もとに資料を持っていないので、正確には答えない。

\*その他、消費税増税と関連し、低所得のお年寄りへの支援を求める質問を行いました。

**質問** 反省すべきは反省し、町民の理解を得ながら進めたい



工事が進むソーラー発電施設。  
住民から不安の声も

**質問** 今後のメガソーラーは、お断わりを応したい

**答弁 町長** 太陽光発電はクリーンなエネルギーだと考えるが、環境や安全との調和も大切である。個人の権利とのバランスも考えながら、メガソーラーを規制する条例を制定したい。

# Q 奈義町の将来を担う人づくりを



中井 泰洋 議員

## A 人づくりは必要！



人づくりと交流の場「那岐の茶の間」

**質問** 行政の知識、アイデアだけでは、これからまちづくりは困難になつてくると思う。まちづくりを町民みんなが協力して行つていくためにも、今まで以上の人づくりが必要になつてくると思うが。

**答弁 町長** 永続できるまちづくりを進めていくためには、全てを行政だけで進めることはできない。

成熟した社会で、これららのまちづくりは町民の皆様と協働で進めなければな

**Q 奈義町に国の防災の拠点を定に重点を置く**

**質問**

奈義町は災害発生の危険度が少ない特性がある。

また、自衛隊の駐屯地もあり、災害派遣の中継地點になつていることを踏まえ、ここ奈義町に国の防災拠点・機関、西日本の広域防災拠点・機関を誘致してはどうか。

**答弁 町長** 防災拠点の重要性については、十分に認識している。

提案にあつた、広域の拠点については、一点に防災拠点を新設するよりも、既存の施設を活用し、広域での相互応援協定に重点を置く現在の防災施策の方針を踏まえて、協調しながら進めていく必要がある。

**Q まちづくり総合計画、創生総合戦略の方向は、人口減少対策、町民との協働がテーマに**

**質問** 「まちづくり総合計画」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改定作業をしているが、これから

**答弁 町長** 素案策定委員会を21名の町民の方などに参加してもらい実施している。各委員が町民意見交換会を主催するなど熱心な協議が進められている。

最大の課題である人口減少、福祉の維持を町民の皆様と協働していくかが重要なであり、町民の皆様と一緒に夢持てる目標を共にし、実効性のある計画を策定したい。



将来の人口維持のために（センタービレッジ改修）



岡 立 議員

## Q 活気あるまちづくりに 漫画「ナルト」登場を

### A 「ナルト」は 高級ブランド品難しい

質問

活気あるまちづくりへの「ナルト」の活用について、以下5点伺う。

奈義町には、町をアピールする決定的なものがない。

ここはやはり、奈義町出

身で世界中にファンがいる、

岸本さんの漫画「ナルト」

に登場してもらうしかない

と考える。

①今までに、何か活用させてもらったことはあるか。

また、計画・挑戦しようと

してできなかつたことが

あるか伺う。

②「ナルト」に関連することを考えるのは、誰でもは専門に担当する協力隊の募集等はどうか。

好きで、愛と情熱があり、

出来ない。漫画やナルトが

集等はどうか。

③現在奈義町では、小学校

で歌舞伎の白浪5人男を演

じる体験をし、伝統を受け

継いでいる。大切に残して

いくためにも、ナルトを題

材にした新作歌舞伎等への

挑戦をしてみてはどうか。

④B、Zのファンが、津山を作り、定着している。奈

義でもゆかりの漫画家にちなんだ場所でそういう事ができないか。

⑤町の玄関として、にぎわいの創出の場所として、苦悩しているナギテラスに、ナルトをはじめ、町出身の方の本を置いたり、作家のプロフィール紹介などもさせていただくのはどうか。

高い料金や継続が不可能なものでなくとも、ファンなどで活用させていただき、

●中央広場でのナルト祭り、

●現代美術館でのナルト展

などで活用させていただき、

●美作国1300年記念のナルト列車、

●奈義町議会だより 152号

●商工会青年部発行の電話帳の表紙、

●多額な寄附、

●答弁 町長 ①については

●答弁 産業振興課長 ②、

●答弁 産業振興課長 ③、

●答弁 産業振興課長 ④、

●答弁 産業振興課長 ⑤については、著

工作の関係で、難しい面も

あるが、作家である岸本先

生や野々上先生のアトリエ

再現等が出来ないか考えて

いる。

お願いにも上がったが、

作会社等の契約もあり、難

しい。



大人気の電話帳

Q 新法人が設立されたが、斬新な計画や、創造的な視点も必要ではないか



芦田一郎議員

A より町民目線で発展させつつ、人口維持に向けたチャレンジを



斬新なチャレンジ ナギフトカード（地方創生事業）

今まで進めてきた。このやり方は国から評価を受け、奈義町の知名度向上にも資する面もあったと認識している。

その一方で、今までにない新しい取り組みや、わかりにくい事業内容も多く、町民の皆さんの中には組み込まれていなかった。その結果として、多くの町民の皆様が参加できる取り組みとならなかつた。町民の理解を得られなければ、いくら優れた事業であつても、進めることができない。今年度から地方創生事業の進め方を見直し、町民主体の法人を立ち上げて事業を進めていく。

より町民目線で発展させつつ、人口維持に向けたチャレンジを、町民とともに行政が協働で行う仕組みづくりに進化をさせる。

※いずれも少子化対策、子育て支援について研修に来られました。

● 10月17日  
徳島県阿波市議会  
8名来町。

● 10月15日  
三重県紀北町議会  
19名来町。  
広島県呉市議会  
1名来町。

● 10月10日  
山形県河北町議会。  
6名来町。  
兵庫県加東市議会。  
10名来町。

8月6日から10月17日にかけて次の自治体が視察に来られました。

● 8月6日  
● 8月20日  
**視察がありました**

質問

地方創生事業発足当初は、奈義町の単独町政を維持し、人口減少を最小限に抑えながら先を見据えた計画を、との思いから業務委託し、国から認められ、斬新な計画、多くの新企画が発表された。町民の皆様の意見を取り入れ、具体的な計画を立てていこうという段階で、既に全てが決まっているかのような誤解が生じ、今日の状況となってしまふ。

今後、新法人が設立され、

方創生事業の取り組みは、外部からの意見を積極的に取り入れ、地方創生推進法人ナギカラを用いて事業を一括委託、企画から事業運

外部からの意見も取り入れながら、斬新な計画を立て、創造的な視点を積極的に取り入れるべきでは。

答弁 町長

これまでの地

その結果として、多くの町民の皆様が参加できる取り組みとならなかつた。町民の理解を得られなければ、いくら優れた事業であつても、進めることができない。今年度から地方創生事業の進め方を見直し、町民主体の法人を立ち上げて事業を進めていく。

8月6日から10月17日にかけて次の自治体が視察に来られました。

● 8月6日  
● 8月20日  
**視察がありました**

# 委員会報告

オートマ車がメイン!

## 總務常任委員會

でも最初から車に機能がついている車種もあるが。..今市販されているものはオートマ車がメインで

ル車については、基本的には事故が少ない。

また、急発進防止装置機能がついている車とついていない車の差額を補助することを考えたが、難しい。70才以上の方を対象にしているので、現在使用している車に付加する形で安全性を確保し

## まちづくり常任委員会

**オ** 所管事務の調査を行った。主な質疑は次の通り。

答　…幅広い考え方・立場の方。住民代表の方などで、区長会会長、子育て教育と連絡協議会長、チャイルドホーム等参加の方、民生委員会会長、商工会の代表理事、消防団長などにお願いした。

## 電子マネーについて

9月3日、町長、副町長、担当課長出席のもと所管事務の調査等を行つた。

問 携力をお願いする。  
.. ナギフトカードの電子マネー化の時期は。

答 .. 許認可の関係なので、はつきりとした時期は言  
い難い。

問 .. 有害鳥獣捕獲の県補助

答・3年度決算では県補助金は約1000万円。所管事務の調査終了後「ナギフトカードの一刻も早い電子マネー導入を求める請願書」の審査を行い、委員会では、全員一致で採択となつた。

# 智頭町議会 との交流会

智頭町議会には畜産業を営んでいる議員の方もおられ、飼料作物や耕畜連携などの苦労話もお聞きしました。



## 智頭町議会との交流会

問…自動車急発進防止装置は、軽トラを含めた全車種に取り付けができるのか。

また、新車でも中古車

問 答  
.. 入っていいない。  
.. まちづくりを町民が自  
分たちでやっていくんだ  
という意識になつてもら  
うには。

所管事務の調査終了  
「ナギフトカードの一刻も  
早い電子マネー導入を求める  
請願書」の審査を行い、  
委員会では、全員一致で採  
択となつた。

ていくことを支援する。

者負担をいただくかどうか検討する。

ていくことを支援する。  
問　幼稚園の授業料の無償化は理解したが保育園の給食費については。  
答　保育料に副食部分を含めて徴収していた。法改正により無償化となつている。  
今後、認定こども園が設置された場合は、保護

者負担をいただくかどうか  
か検討する。

問 行政懇談会について、  
町民の声を聞くことは良  
いが、時間が短いのでは  
との意見があるが。  
答 .. 当初は1時間30分程度で  
スタートした。町長の行  
政報告などを簡潔にし町  
民の意見を聞く。

# 全国小さくても輝く 自治フォーラム in 南牧村

10月4日、5日、群馬県南牧村、にて、小さくても輝く自治体フォーラムに參加しました。

1日目は、「小さな自治体のしなやかな自治は、「自治体戦略2040構想」の自治破壊に負けない」という演題で、白藤博行専修大学教授による記念講演が行われました。

また、牧山正男茨城大学准教授をコーディネーターにリレートークが行われた後、全国各地の参加者と交流を深めました。

2日目は、分科会が行われました。

- ①「移住・定住」
- ②「地域資源活用・地域振興」
- ③「都市・農村交流」

の各分科会に分かれ、研修しました。

その後、分科会の報告が行われ、アピール文を採択し、閉会しました。



## 総務常任委員会研修

10月3日、長野県喬木村にて総務常任委員会視察を行いました。

議会改革の取り組みについて、「小規模議会の在り方を求めて・夜間・休日議会の挑戦」と題し、下岡幸文議長より小規模議会の在り方に対する喬木村の考え方や取り組みをうかがいました。

説明の概要は、

- ①議員のなり手不足の解消について
- ②イベント的ではない通常議会の取り組みについてなど、本町においても大変



常任委員会合同研修（総務／喬木村）

参考になる有益な内容でした。地域性も鑑み、活用できるところは積極的に活用し、奈義町議会の更なる活性化に向けて検討・計画を促していくことが必要であると感じました。



常任委員会合同研修（まちづくり／生坂村）

## まちづくり 常任委員会研修

10月4日、長野県生坂村で農業公社を視察しました。人口2千人に満たない、高齢化率約42%の村です。生坂村は、元々全国でも有数の養蚕地域でしたが、衰退と共に、桑畑の荒廃と

農家の高齢化による担い手不足が進みました。昭和61年より、桑畑に代わり、巨峰栽培に取り組み、ぶどう畑として整備しました。

しかし、また、10年程すると高齢化、価格低迷等により、巨峰園の荒廃化が危惧され始め、平成7年に農業公社を設立し、平成10年から「新規就農研修事業」を開始し、今までに19家族が研修を修了し、現在では15家族が地域で農家として自立をしています。

農業での村民参加の村づくりは、奈義町の農業、そして、まちづくりの参考となるところが多数あります。

# 岡山県町村議会議員研修会

## 地域振興と議会 改革について

7月29日、県市町村振興センターにて議員研修に参加した。

研修内容は、「地域振興とまちづくり」「新たな議会改革の動向と課題」だった。

地域づくりについては、「葉っぱビジネス」で有名になつた徳島県上勝町の株式会社いのどり代表取締役社長横石知二氏を講師に、講演があつた。何でもない葉っぱがビジネスになると、いう着眼点、そして、自身の情熱と知識と技術により、色々な料理に合うもみじ、ワサビの葉まで商品化し、地域の仲間も、好きなことをして稼げるまでの環境整備ができた。この稼ぐと、ことが、地域福祉にも役立ち、いつまでも考える習



熱心に受講

慣、自分で考えて行動する人生。すばらしい地域、まちづくりの講演だった。

次に、議会改革については、山梨学院大学教授の江藤俊昭氏を講師に講演があった。議会の機能低下、国を推進する広域連携構想が危惧されるとのことだった。

住民と歩む姿勢、議員間で協議の場をもち、政策協議ができるようにとの指摘があった。

10月9日、元全国都道府県議会議長会事務局次長の内田一夫氏による、コンプライアンスについての研修に参加した。

内容については、

- ・コンプライアンスとは法令順守である。しかし、形式的に法令を順守するのではなく、社会的要請に沿った解釈運用が必要である。
  - ・議員の立場として、多数の住民に活動をオープンにし、公平公正な行動が求められている。
  - ・政治活動の自由は、認められているが、利益相反行為にあたる可能性のある兼职、兼業の規制がある。
  - ・あいさつ状、寄付行為、祝儀、香典、あっせん利得罪等についても具体的な例をあげて説明があった。
- 政治倫理条例や、住民の理解を得られる行動をすることが大切だと思った。

## コンプライアンスについて

### 令和元年度前期分政務活動費報告書 (平成31年4月～令和元年9月)

議員氏名	収支報告額(実績) 単位:円							支給決定額	政務活動費の主な使い道
	調査研究費	研修費	会議費	資料作成費	資料購入費	広報費	合計		
上原伸介							0	0	
定森廉敏							0	0	
中井泰洋							0	0	
岡部英生							0	0	
小阪四郎				34,269		34,269	34,269	34,269	「地方議会人」「注釈 地方自治法」他購読料
鷹取 渡				4,896		4,896	4,896	4,896	「地方議会人」購読料
芦田一郎							0	0	
森藤政憲		5,000	16,888		4,098	25,986	25,986	25,986	議会報告会開催、アンケート調査実施、「森藤まさのり議会だより」発行
岡 立					5,550	5,550	5,550	5,550	「岡りつだより」発行
岡 親佐							0	0	
計	0	0	5,000	16,888	39,165	9,648	70,701	70,701	

# タブレット導入についての調査研究



タブレットについての研修（鏡野町）

8月21日、タブレット導入について、鏡野町議会で研修を受けました。

導入することによって、資料をデータ化するので常時送受信が可能になります。

多くの資料を持ち歩けるのでいつでも町民に説明できるようになる。

膨大な資料を簡単に保管

整理ができ、必要な部分をすばやく探せる。

といったことが可能となり、議員活動の活性化と、住民へのサービス向上につながる試みだと感じました。リスクの回避・導入のスケジュール、予算等をこれから検討します。

なお、この研修は智頭町議会と合同で行いました。



明るい未来に向けてのワークショップ

## 中学生との懇談

10月8日、議会と奈義中学校3年生とで懇談会を実施しました。テーマは、①もし自分が町長だったら、奈義町をどんなまちにしたいか。

希望にあふれる意見が多く出されました。

台風19号の被害も少なくてすみましたが、今後発生する台風にも注意、警戒が必要です。

今、奈義町は、将来に向けて様々な事が始まり、動いています。市民の皆様にも、積極的に参加していただき、みんなで未來ある奈義町を創っていきましょう。

（中井泰洋）

【編集委員】  
議長 岡定森  
副委員長 上原伸  
委員 鷹取廉  
泰洋郎  
親佐介敏渡  
四郎

## 編集後記

酷暑の夏も過ぎ去って、爽やかな季節となり、食欲の秋、紅葉の秋となつてきました。

安全安心で夢が叶えられる町など、将来に向けて

ふれる暮らしやすい町、安全安心で夢が叶えられる町など、将来に向けて